【学校教育目標】 友情と信頼で結ばれ 夢実現に向けて 佐中プライドをもって 粘り強く 考動できる 生徒の育成

北







校訓

主 自 性 根 協 同

人一人の成長 • 集団 「の成長が実感できる一 年に

度は昨年度以上に全力を傾ける生徒の姿に感動させられ、成長を実感するり、卒業式のステージには十本以上の優勝旗を飾ることができました。今年活動等スポーツ面においても今年度は例年以上に優勝旗を保持することにな においても主体的な取組が多く見られ、佐中らしさを出してくれました。部パワーと一体感を見事に表現してくれました。生徒会執行部や各委員会活動は、個々人の内在するエネルギーを発露し、学年、学校等集団においては、その 敷中のすばらしい伝統が、確実に受け継がれていると感じられ、先日卒業した心がけようとする雰囲気が感じられ、大変うれしく頼もしく思いました。佐く、よく響くようになったりするなど、佐中生としての自覚と主体的な生活を として設定し、一年間の学校教育を進めてきました。行事等を振り返ってみ 卒業生も喜んでいると思います。 ティア活動をする在校生の姿が増えたり、自転車通学生の挨拶の声が大き ことが多かったように思います。卒業式翌週には、卒業生に代わって朝のボラン づくりに大きく貢献してくれたように思います。また、体育大会や文化祭で 持ち、佐中プライドを持って参加している様子があり、厳粛で清々しい雰囲気 ると、入学式と卒業式においては、一人一人が行事の主体者としての意識を 卒業生と、在校生百十四人は、無事にそれぞれの教育課程を修了し、次のステ ジに進むことになります。本年度は、上にある学校教育目標を大きなゴール 和五 年 二〇〇日の 登校日も本日で終わりになりました。六十一人の 正し、家庭と協力して取組を考えていく必要があると思います。にする」取組から「使い方をコントロールする」 取組に考え方を修 「C」であったSNS等メディアの使用については、「使わないよう う努力を続けたいと思います。また、昨年度に引き続き評価 改善に努めていきたいと思います。これからも、本校教育活動へのた。良いところは更に伸ばし、課題は全職員で真摯に受け止め、 言葉かけ等、お褒めや励ましの言葉をいただくことができまし また、記述では、生徒の挨拶や生徒一人一人への教職員の温かい 1・2の割合

ということを伝えて、最後の話としました。凡事徹底を実践することの大切さを強調し、 佐中プライドを言えるということ、その上で、佐中プライドを実践するためのイドを体現できる人であるということを話しました。さらに、自分にとっての として考える必要があるということ、凡事徹底が実践できる人こそ、佐中プラた。「佐中プライド」と「凡事徹底」については、別々に考えるのではなく一体 中プライド」「凡事徹底」「相手に届く挨拶」について総括させてもらいまし また、本日の修了式では、これまで校長として機会ある度に話してきた「佐 全校生徒の成長を期待している

ずがある場合は、担任、学年部に関わらず本校職員までお話しください終わると、一気に次年度への準備へとシフトすることになります。への授業参観、高校との連絡会、芦北町中学校生徒会リーダー研修会います。例えば、令和六年度一年生の体験入学、本校職員の大野小【令和六年度へのバトン!】先週から令和六年度へバトンをつなぐ わらず本校職員までお話しくださ ります。連絡・相談ー研修会等。卒業式の大野小及び佐敷小をつなぐ取組を行っ 、連等。 °絡。

等がへて

R6、3、22発行 文責 光山 える保護者の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうござ

佐

対射中の

教育~令

和五年度保護者アンケート

から~

二月に保護者アンケート調

|査を行いましたところ、80%を

ご支援、ご協力をお願いいたします	します。		まし	ました。(光)
評価 A	A	A	С	Α

以外	: 「わからない」「きまりを決めていない」と回答した方 の回答総数における割合について、「と2の合計が、 10~90] A [90以下~80] B [80以下] C	回答数	回答数	%	1・2の割合 3・4の割合 5の割合	評価
_	伝えられている	58	116	50.0	96.6 3.4 5.7	А
	2 どちらかといえば伝えられている	54		46.6		
1	3 どちらかといえば伝えられていない	3	116	2.6		
	4 伝えられていない	- 1		0.9		
	5 わからない	7	7	5.7		
	1 ていねい	75		63.0	00.0	А
	2 どちらかといえばていねい	43		36.1	99.2	
2	3 どちらかといえばていねいでない	1	119	0.8		
	4 ていねいでない	0		0.0	8,0	
	5 わからない	4	4	3.3	3.3	
	1 b a	85		75.2	00.0	
	2 どちらかといえばある	26		23.0	98.2	
3	3 どちらかといえばない	2	113	1.8		Α
	4 ない	0		0.0	1.8	
	5 わからない	10	10	8.1	8.1	
4	I 行われている	25		26.9	93.5	
	2 どちらかといえば行われている	62	93	66.7	73.5	
	3 どちらかといえば行われていない	5	73	5.4	6.5	Α
	4 行われていない	1	1	1.1	6.5	
	5 わからない	30	30	24.4	24.4	
5	1 とっている	90		73.2	95.1	
	2 どちらかといえばとっている	27	123	22.0	75.1	
	3 どちらかといえばとっていない	4		3.3	4.9	Α
	4 とっていない	2		1.6	4.7	
	5 わからない	0	0	0.0	0.0	
6	I 守っている	22	117 4	18.8	65.0 35.0	С
	2 どちらかといえば守っている	54		46.2		
	3 どちらといえば守っていない	29		24.8		
	4 守っていない	12		10.3		
	5 きまりを決めていない	6	6	4.9	4.9	
7	1 できている	57	113	50.4	92.0 8.0	A
	2 どちらかといえばできている	47		41.6		
	3 どちらかといえばできていない	7		6.2		
	4 できていない	2		1.8		
	5 わからない	10	10	8.1	8.1	

肯定的な評価である「ー」の回答が100%に近づくことを目指 まりあ感生ラ務ういい学「話た一あ皆護の徒ま便度としがり謝徒イでなまる校下し。。年り様者頑やいり最うたとまのにドき学。自にによりな充ご地り生たってままななのでは、どが、しれっ中にのしっれたでましカ域、た。て学本いあかてたプ勤よててるがもしたがの保ち生し校年 _____ -あ皆護の徒ま便度とあ -り様者頑やいり最うと

し、細かく見ると、「2」の評価もたくさんありましたので、最も 質問項目中、六項目で評価を「A」とさせていただきました。しか

、今後も学校教育活動の様子を発信し、ご理解いただけるよ

いました。集計の結果については、左の表にまとめました。七つの